

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年6月22日 (2017.6.22)

【公開番号】特開2017-14218(P2017-14218A)

【公開日】平成29年1月19日 (2017.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2017-003

【出願番号】特願2016-137221(P2016-137221)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/08 (2006.01)

A 6 1 P 5/14 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 16/28 Z N A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 P	43/00	1 0 7
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	33/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	9/08	
A 6 1 P	5/14	
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/574	A
C 1 2 N	15/00	A
C 1 2 P	21/08	

## 【手続補正書】

【提出日】平成29年5月10日(2017.5.10)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 配列番号 28 を含む重鎖可変領域および配列番号 34 を含む軽鎖可変領域；  
 (b) 配列番号 4 を含む重鎖可変領域および配列番号 10 を含む軽鎖可変領域；  
 (c) 配列番号 16 を含む重鎖可変領域および配列番号 22 を含む軽鎖可変領域；  
 (d) 配列番号 40 を含む重鎖可変領域および配列番号 46 を含む軽鎖可変領域；  
 (e) 配列番号 52 を含む重鎖可変領域および配列番号 58 を含む軽鎖可変領域；なら  
 びに

(f) 配列番号 76 を含む重鎖可変領域および配列番号 82 を含む軽鎖可変領域  
 からなる群から選択される重鎖可変領域および軽鎖可変領域を含む抗体が結合する、ヒト  
 樹状細胞および上皮細胞 205 受容体 (DEC-205) 上のエピトープに結合する単離  
 抗体。

【請求項 2】

(a) 配列番号 28 を含む重鎖可変領域および配列番号 34 を含む軽鎖可変領域；  
(b) 配列番号 4 を含む重鎖可変領域および配列番号 10 を含む軽鎖可変領域；  
(c) 配列番号 16 を含む重鎖可変領域および配列番号 22 を含む軽鎖可変領域；

(d) 配列番号 40 を含む重鎖可変領域および配列番号 46 を含む軽鎖可変領域；  
 (e) 配列番号 52 を含む重鎖可変領域および配列番号 58 を含む軽鎖可変領域；なら  
 びに

(f) 配列番号 76 を含む重鎖可変領域および配列番号 82 を含む軽鎖可変領域  
 からなる群から選択される重鎖可変領域および軽鎖可変領域を含む抗体と、ヒト D E C -  
 205 への結合を競合する、単離抗体。

【請求項 3】

ヒト D E C - 205 に結合し、かつ以下の性質の少なくとも 1 つを示す、請求項 1 また  
 は 2 に記載の単離抗体：

(a) 表面プラズモン共鳴によって決定した場合に少なくとも  $10^8 \text{ M}^{-1}$  の親和定数  
 でヒト D E C - 205 に結合すること；

(b) D E C - 205 を発現するヒト樹状細胞への結合後に内在化すること；

(c) 抗原に対するヒト C D 4 + T 細胞応答を生成もしくは増強すること；

(d) 抗原に対するヒト C T L もしくは N K T 応答を生成もしくは増強すること；

(e) 樹状細胞中の抗原プロセッシング区画に局在すること、または

(f) 末梢 C D 8 + T 細胞寛容を誘導すること。

【請求項 4】

以下からなる群から選択される重鎖可変領域 C D R 3 配列および軽鎖可変領域 C D R 3  
 配列を含む、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の単離抗体：

(i) 配列番号 31 を含む重鎖可変領域 C D R 3 および配列番号 37 を含む軽鎖可変領  
 域 C D R 3；

(i i) 配列番号 19 を含む重鎖可変領域 C D R 3 および配列番号 25 を含む軽鎖可変  
 領域 C D R 3；

(i i i) 配列番号 7 を含む重鎖可変領域 C D R 3 および配列番号 13 を含む軽鎖可変  
 領域 C D R 3；

(i v) 配列番号 43 を含む重鎖可変領域 C D R 3 および配列番号 49 を含む軽鎖可変  
 領域 C D R 3；

(v) 配列番号 55 を含む重鎖可変領域 C D R 3 および配列番号 61 を含む軽鎖可変領  
 域 C D R 3；ならびに

(v i) 配列番号 79 を含む重鎖可変領域 C D R 3 および配列番号 85 を含む軽鎖可変  
 領域 C D R 3。

【請求項 5】

前記抗体がヒト抗体またはキメラ抗体である、請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の  
 単離抗体。

【請求項 6】

前記抗体が、I g G 1 抗体、I g G 2 抗体、I g G 3 抗体、I g G 4 抗体、I g M 抗体  
 、I g A 1 抗体、I g A 2 抗体、I g A s e c 抗体、I g D 抗体、および I g E 抗体から  
 なる群から選択される、請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の単離抗体。

【請求項 7】

抗原に連結した請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の単離抗体を含む分子コンジュゲ  
 ート。

【請求項 8】

前記抗原が、病原体成分、腫瘍抗原、アレルゲンおよび自己抗原からなる群から選択さ  
 れる、請求項 7 に記載の分子コンジュゲート。

【請求項 9】

前記腫瘍抗原が、h C G、g p 100 または P m e 1 17、H E R 2 / n e u、W T  
 1、メソセリン、C E A、g p 100、M A R T 1、T R P - 2、N Y - B R - 1、N Y  
 - C O - 58、M N ( g p 250 )、イディオタイプ、チロシナーゼ、テロメラナーゼ、S  
 S X 2、M U C - 1、M A R T 1、メラニン - A、N Y - E S O - 1、M A G E - 1、M A  
 G E - 3、M A G E - A 3、および高分子量黒色腫関連抗原 ( H M W - M A A ) からなる

群から選択される、請求項8に記載の分子コンジュゲート。

【請求項 10】

前記抗原が、H I V、H P V、H B V、またはH C Vに由来する、請求項7に記載の分子コンジュゲート。

【請求項 11】

細胞毒性薬、免疫抑制薬、および化学療法薬からなる群から選択される治療薬をさらに含む、請求項7に記載の分子コンジュゲート。

【請求項 12】

請求項1乃至4のいずれか一項に記載の単離抗体と異なる結合特異性を有する分子に連結した請求項1乃至4のいずれか一項に記載の単離抗体を含む二重特異性分子。

【請求項 13】

請求項1乃至4のいずれか一項に記載の単離抗体および薬学的に有効なキャリアを含む組成物。

【請求項 14】

治療薬と組み合わせてなる、請求項13に記載の組成物。

【請求項 15】

被験体におけるD E C - 2 0 5への抗原のターゲティングのための請求項13に記載の組成物。

【請求項 16】

被験体における抗原に対する免疫応答を誘導または増強するための請求項13に記載の組成物。

【請求項 17】

抗原に対する被験体のT細胞媒介性免疫応答を誘導または増強するための請求項13に記載の組成物。

【請求項 18】

被験体を免疫化するための請求項13に記載の組成物。

【請求項 19】

被験体の障害を治療するための請求項13に記載の組成物。

【請求項 20】

被験体におけるB細胞に抗原をターゲティングするための、該抗原に連結した請求項1乃至4のいずれか一項に記載の単離抗体を含む分子コンジュゲートを含む組成物。

【請求項 21】

被験体における抗原に対する免疫応答を誘導または増強するための、該抗原に連結した請求項1乃至4のいずれか一項に記載の単離抗体を含む分子コンジュゲートを含む組成物。

【請求項 22】

抗原に対して被験体を免疫化するための、該抗原に連結した請求項1乃至4のいずれか一項に記載の単離抗体を含む分子コンジュゲートを含む組成物。